横浜緑地 × 共働舎

1フラワー for10スマイル プロジェクト

共働舎での花苗づくり

横浜緑地では「自社の事業を通じて社会貢献がしたい」との思いから、県立都市公園の管理運営で使用する花の苗を、福祉施設から購入することで地域貢献ができないかと考えていました。一方、共働舎では、障がいのある人たちが苗作りを行っていますが、年間に作れる数に限りがあり安定して市場に出せないこと、また、やりがいにつなげるためにも顔の見える関係で苗を売りたいと、販路を探していました。

この2者が2013年の神奈川県主催のパートナーシップミーティング※1で出会い、始まったのが、「1フラワーfor10スマイルプロジェクト」でした。共働舎で育てた苗を横浜緑地が買い取り、それを地域のボランティアさんと一緒に県立観音崎公園に植える。そして、買った苗1つに付き10粒分の花の種を横浜緑地が共働舎に渡し、それを共働舎で袋に小分けし、地域の人に配布することで、地域に花と緑と笑顔を広めるという事業です。

これまで購入していた花の苗より割高ではありますが、共働舎の苗は根の張りが今までのものと全く違い、植えた後の生育も良好でした。数が少なくても花壇が映えるようになり、購入量と価格のバランスがとれるデザインを作ることができました。

出会ってから1年半。今では、春と秋に2000ポットの苗を車に乗せて、横浜から横須賀に納品するのが共働舎の皆さんの楽しみになっています。2013年には、花の種を県立観音崎公園のお祭りや共働舎のお祭りで配布し、地域の人に喜ばれました。

※1 神奈川県が主催する、企業とNPO、大学が協働して社会（地域）課題を解決するためのきっかけ作りの場。
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6188/

つながることでできたこと。良かったこと。

横浜緑地株式会社

所長の大谷紗織さん

今まで関わりがなかった障がいのある人とつながりを生み出せたこと。そして、緑を育てるボランティアさんにも、いっそう花の苗に愛着をもってもらえていること。そして何より今の共働舎との相思相愛の関係が作れていること。実績を積んでほかの公園にも広げていきたいと思っています。

共働舎（社会福祉法人 開く会）

何より安定した仕事を確保できたこと。今までも障がいのある人の作った苗を買いたいという造園会社はありましたが、苗を納めるという関係だけで終わっていました。実際に作っている現場を見に来てくれたり、苗の生育状況に応じて注文を変えてくれたりといった、やり取りができるところはなかったので、とても楽しいです。ゆくゆくは、花苗の植え付けにも関われたらいいなと思っています。